

取組の背景

- 当法人は、6年間足立区役所等で相談会を行い、放置空き家・老朽危険家屋問題の解決、高齢者が安心して暮らせる住宅供給のシステム構築に努めている専門家集団（一社）まちなか整備・管理機構のサポートインフラプラットフォームとしての役割を担う組織であり、空き家化を未然に防ぐための啓発活動と、相談会で蓄積した解決事例やノウハウをシェアする活動を行っている。
- 活動を続ける中で、空き家の発生を抑制するためには、空き家所有者の悩みを傾聴し、問題を拾い上げる人材が必要だと判断。空き家を取り巻く問題は多岐にわたっているため、空き家所有者の意向を汲み取り、相談者と適切な専門家をつなぐ「空き家相談員」を育成するとともに、相談会を広く実施すると同時にセミナー等で啓発活動を行うことが迅速な空き家の課題解決において、非常に重要と考えている。

取組内容・期待される効果

【取組内容】

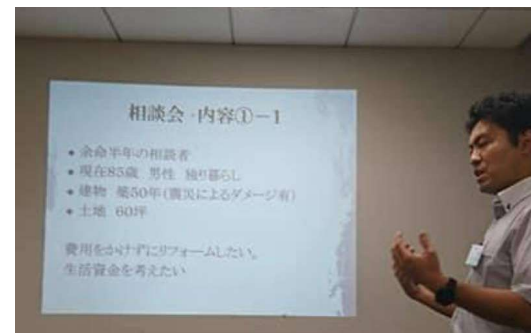
- 高齢の住宅所有者やその家族が住宅の処分や活用にあたり直面している問題を汲み取り適切な専門家につなぐための「空き家相談員」の養成講座を実施する。
- また、管理不全により地域に危険を及ぼしている空き家の実例を紹介するセミナーや、専門家と連携した空き家・終活に関するワンストップの相談会を開催することにより、住まいに関する意識啓発や空き家化の防止に取り組む。その際、「解決提案書」を作成し、継続的な相談体制を構築する。
- 加えて、「空き家の相談員養成ハンドブック」や「空き家の活用とデザインハンドブック」を作成するとともに、高齢者が快適に過ごせる住宅改修や自宅の有効活用を提案し、空き家化を未然に防止するための普及啓発活動を行う。

【期待される効果】

- 養成された「空き家相談員」が各地で活躍し、潜在している空き家問題を掘り起こし、相談の場まで誘導することが期待される。
- 空き家・終活セミナーは、空き家の現状や危険性を多くの方に実感してもらい個々人が早めの対策に取り組むよう注意喚起を促すことで、空き家の発生抑制や利活用に繋げていく。



<空き家相談員養成講座イメージ>



<空き家・終活セミナーイメージ>

空き家相談員の養成と専門家と連携した相談体制の拡充事業

